

平成26年度事業活動の概要報告

当財団の平成26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）の事業報告及び財務諸表につきましては、平成27年6月10日に開催された理事会及び6月23日に開催された評議員会において監査報告書を含めて報告・承認されたところですが、ステークホルダーの皆様方に当財団の活動内容をご理解いただきたく、ホームページ上でも、(1) 学術交流促進・研究成果公開助成事業（学術交流の促進と研究成果の公開に係る助成事業）、(2) 教育の充実・学術基盤整備助成事業（教育の充実と学術基盤整備に係る助成事業）、(3) 学術交流施設（「ロイ・スミス館」）の維持管理事業という、当財団が行う主要な事業別にその概要について、財務諸表（貸借対照表と正味財産増減計算書）の要旨と併せて、ご報告させていただきます。

平成26年度では、学術交流の促進と研究成果の公開、教育の充実に係る助成事業を継続して実施するとともに、助成事業の見直しのための委員会を設置し、同委員会からの答申を受けてその内容を平成27年度助成事業の募集に反映させたところです。当財団の創立50周年記念事業として10年の期間限定で創設した「社会科学特別奨励賞（凌霜賞）」等も平成29年度までとなり、新たな施策の展開を検討すべき時期にあります。

平成27年度に入り、理事・監事、評議員の任期満了を迎えて、各1名の新任の補充とそれぞれ現任者の再任が承認されました。あわせて平成27年6月23日付けで高崎正弘理事長が再任されました。

今後とも、本財団に対して、従前と同様のご協力とご支援を賜わることをお願い申し上げます。

以上

I 事業報告の概要

（金額は千円未満四捨五入）

1 学術交流促進・学術成果公開助成事業	21,113千円
1-1 学術交流の促進	18,463千円
(1) 海外研究活動支援（海外研究活動や海外学会派遣等への助成）	15,264千円
○経済学研究科	(2,987千円)
・奥西 孝至教授（平成26年8月～平成26年10月、ベルギー）	
目的：グローバル化における欧州経済統合の歴史的役割に関する研究	
・片山三男講師（平成26年8月～平成26年9月、ドイツ）	
目的：戦後日欧二輪車産業の比較研究	
・岩壺健太郎教授（平成27年3月、ドイツ・米国）	
目的：FX証拠金取引市場における投資家の心理バイアスに関する研究	
○経営学研究科	(5,527千円)
・堀口真司准教授（平成26年6月、ドイツ）	
目的：近年日本企業の倫理行動規範に関する研究	
・高橋潔教授（平成26年6月～平成26年8月、ドイツ）	
目的：グローバル・リーダーシップならびにグローバル人材 開発に関する経営学的研究	
・高田知美准教授（平成26年8月～平成27年8月、米国）	
目的：財務諸表監査の経済的機能に関する実証分析	
・島田智明准教授（平成26年6月、イタリア）	
目的：Eur OMA コンファレンスにおいて研究発表及び情報収集	

- 法学研究科 (1,500千円)
- ・島並 良教授 (平成26年8月～平成27年2月、米国)
目的：社会的契約としての特許制度に関する資料収集・意見交換
 - ・玉田 大教授 (平成26年9月、イギリス)
目的：国際シンポジウム参加・報告、国際提携 協定の締結交渉
 - ・ピッカリング特命講師 (平成26年9月、イギリス)
目的：東アジアにおける国境線をめぐる政治経済についての
中間報告と研究内容改善の打合せ及び追加資料収集
- 国際協力研究科 (2,450千円)
- ・山崎幸治教授 (平成26年4月～平成26年8月、インド)
目的：インドにおける経済成長と多面的貧困削減の実態及び
地域間・階層間格差に関する実証分析
 - ・アレキサンダー・ロニー教授 (平成26年12月～平成27年3月、米国)
目的：コミュニティ形成におけるアートの可能性—女性による
紛争・災害・文化的トラウマ後の生活再生活動を中心に—
 - ・駿河輝和教授 (平成26年9月～平成26年10月、ラオス)
目的：ラオスにおける海外直接投資の経済発展、地域経済
社会に与える影響
- 経済経営研究所 (2,500千円)
- ・佐藤隆広教授 (平成26年10月～平成27年1月、インド)
目的：インドの日系企業と日印経済関係に関する研究
 - ・濱口伸明教授 (平成27年2月～平成27年3月、ブラジル)
目的：WRSA年次大会で研究発表及び意見交換、IE-UFRJの
競争力研究グループ(GTC)の研究者と共同研究
- 外国人研究者招聘 (300千円)
- ・クリスチャン・トーマス氏 グラスゴー大学(イギリス)
(平成26年5月～平成26年6月) 招聘部局：法学研究科
- (2) 学会・シンポジウム等開催支援 (国内学会・国際学会・シンポジウム・フォーラム
・セミナー・ワークショップ等開催への助成) 3,199千円
- 経済学研究科・経済経営研究所 (130千円)
- ・第2回共同研究発表会開催助成
(神戸大学、漢陽大学、経済金融大学・経済研究所、
南洋理工大学経済学部)
期 間 平成26年5月10日
場 所 神戸大学六甲台キャンパス
- 経済学研究科 (350千円)
- 4大学シンポジウム開催助成
(神戸大学・中国山東大学・浙江大学及び南開大学)
主 催 神戸大学経済学研究科及び経済経営研究所
期 間 平成26年11月20日～平成26年11月24日
場 所 中国山東大学
- 経営学研究科 (299千円)
- ・日本簿記学会第30回全国大会開催助成
期 間 平成26年8月28日～平成26年8月31日
場 所 神戸大学六甲台本館他
 - ・日本原価計算研究学会第40回全国大会開催助成
期 間 平成26年9月19日～平成26年9月21日
場 所 神戸大学六甲台本館他

- 経済経営研究所 (420千円)
 - ・第4回鐘紡研究会開催助成
 - 期 間 平成26年10月4日
 - 場 所 神戸大学経済経営研究所
 - ・Workshop on :Trade, Finance and Production Networks in East Asia 開催助成
 - 期 間：平成27年1月16日
 - 場 所：神戸大学経済経営研究所
- 社会科学系教育研究府 (2,000千円)
 - ・ユニット活動(セミナー)開催支援費
 - 国際シンポジウム「阪神淡路大震災20年記念シンポジウムーコミュニティ主導の災害復興と大学の役割」
 - 開催日 平成27年1月15日
 - 場 所 神戸大学六甲ホール 学内外参加者200名
 - シンポジウム・ビデオ上映会「神戸から未来へーコンピュータの発展と社会」
 - 開催日 平成27年3月19日
 - 場 所 神戸大学出光佐三記念六甲台講堂
 - 学内外参加者150名
 - 教育ユニット 学生の研修・見学会・合同ゼミ等の教育活動
 - 内 容 札幌、淡路島、鞆の浦等での研修・フィールドワーク現地での具体的問題について討論、学生相互のディスカッションを通じて自らのアプローチの深化など

- 1 - 2 学術成果の公開 2,650千円
 - (1) 学術研究成果刊行支援 (学術研究成果刊行への助成) 2,550千円
 - 経済学研究科 (2,000千円)
 - ・滝川好夫 著 「信用金庫のアイデンティティと役割」 (株)千倉書房
 - ・前田裕子 著 「ビジネス・インフラの明治」名古屋大学出版会
 - 国際協力研究科 (550千円)
 - ・高橋基樹 著 「現代アフリカ経済論」ミネルヴァ書房
 - (2) 海外学術雑誌投稿支援 (海外学術雑誌投稿への助成) 100千円
 - ・経営学研究科 (原田 勉教授)

2 教育の充実・学術基盤整備助成事業 17,041千円

- 2 - 1 教育等の充実 17,041千円
 - (1) 社会科学特別奨励賞 7,827千円
 - (経済学部・経営学部・法学部の学部学生(2年生～4年生)、及び経済学研究科・経営学研究科・法学研究科・国際協力研究科の大学院学生(博士課程前期課程2年(法学研究科にあつては専門職学位課程を含む)の成績最優秀者への奨学金支給)
 - (2) 社会科学特別奨励賞 2,464千円
 - (経済学研究科・経営学研究科・法学研究科・国際協力研究科の大学院学生(博士課程後期課程)の海外研究活動支援)

- (3) 相互履修科目開講支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,120千円
 他学部学生向け増設専門講義科目
 経済学部：エッセンシャル・ミクロ経済学、エッセンシャル・マクロ経済学
 経営学部：エッセンシャル経営学、エッセンシャル会計学
 法学部：エッセンシャル民法、エッセンシャル商法
- (4) 田崎奨学基金による学生への支援（2件）・・・・・・・・・・ 300千円
 (5) 久研究奨学基金による学生の海外研究旅費支給（1名）・・・・・・ 318千円
 (6) 凌霜研究奨学基金による学生への支援（5件）・・・・・・ 1,400千円
 (7) 襄山研究奨学基金による学術研究への支援（1件）・・・・・・ 412千円
 (8) 大学院学生に対する支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3,200千円
 ○法学研究科 (2,200千円)
 ・大学院学生の海外研究活動支援（3名）
 ・院生のエクスターンシップ実施経費
 ○若手研究者養成支援 (1,000千円)
- 3 学術交流施設維持管理事業 63千円**
 (1) 学術交流施設（「ロイ・スミス館」）の維持・管理・・・・・・・・・・ 63千円
- 4 事業費付帯経費 8,030千円**